

経営比較分析表（令和4年度決算）

愛知県碧南市 碧南市民病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------|---------|---------|---------------|------------|
| 当然財務 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上～300床未満 | 非設置 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 20 | 対象 | 透未訓 | 救臨輸 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院 | 看護配置 |
| 72,645 | 27,427 | 非該当 | 非該当 | 7：1 |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|------------|------------|---------------|
| 255 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 255 |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般+療養） |
| 255 | - | 255 |

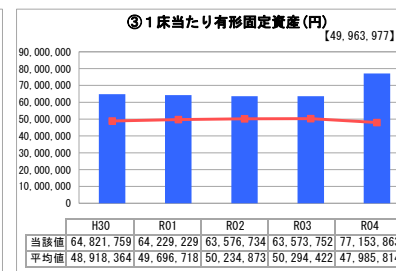
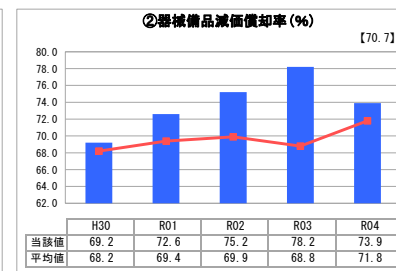
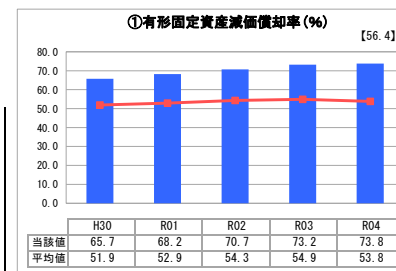
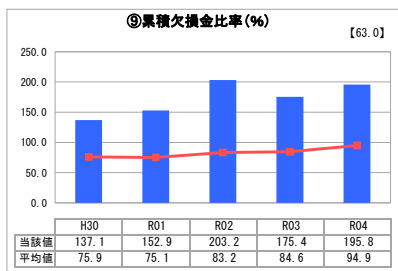
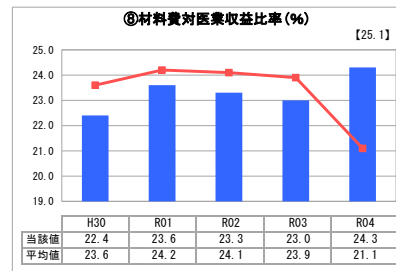
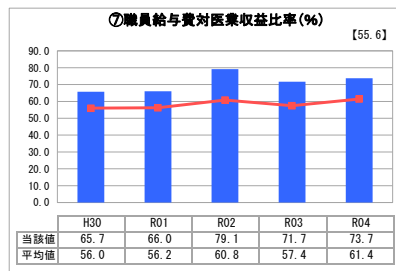
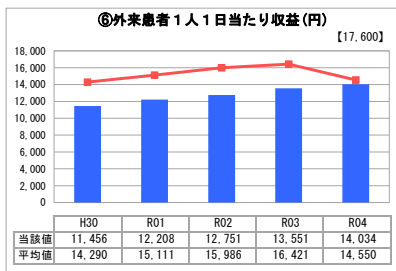
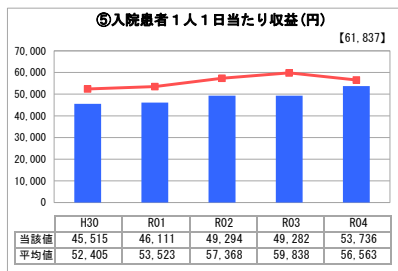
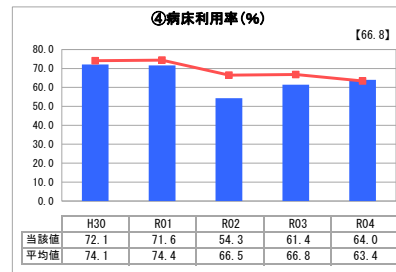
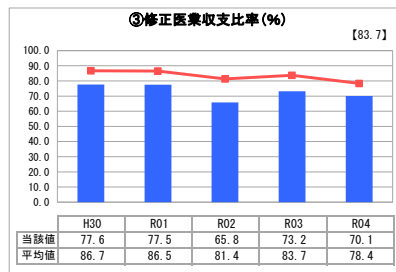
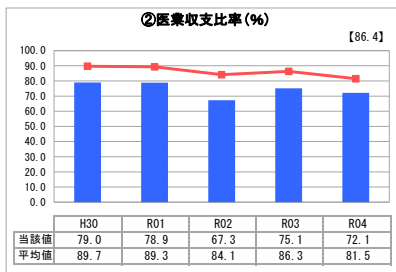
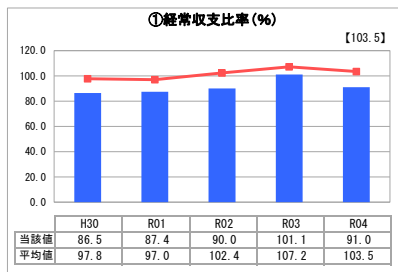
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化 (従来の院種・ネットワークを含む) | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|--------------------------------|-----------|-----------|
| - | - | - |
| 年度 | 年度 | 年度 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

I 地域において担っている役割

当院は基本理念である「温かな心のもった医療の提供」に努め、西三河西部西医療圏に属する中核病院として、地域における二次救急医療機関の役割を担っている。長引くコロナ禍の中、ウィズコロナ、アフターコロナを意識した新たなライフスタイルが定着し、新型コロナウイルス感染症の患者数も時期によって増減はあるものの、感染状況は前年度に比べ落ち着いた状況となっている。当院では引き続きワクチン接種の促進に努め、令和4年度は延べ4,037回の接種を行った。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は④病床利用率が前年度比2.6%増の64.0%となり、わずかではあるが類似病院平均値を上回った。しかしながら、これは入院患者数の増加によるものではなく、病床数も119床から255床に増えたことによるものである。病床数の削減に加え、令和4年度は入院病棟の改修工事に伴う患者の受入れ制限を行ったため医療収支は前年度比2.2%、380千円余の減となった。②医療収支比率や③修正医療収支比率はそれぞれ前年度比3%ほどの減となった。また、医療外収益は国庫補助金の減少によって前年度比53.0%、0.4千円余の減となった。総じて、経常収益（医療収益・医療外収益）は前年度比75.6%、4.2千円余の減となり、経常費用（医療費用・医療外費用）の増え幅が大きくなったため、①経常収支比率は9.1%で前年度比1.0%の減と大幅に悪化した。今後の経営改善に向けた取組としては、令和5年7月末で入院病棟の改修工事が完了し、院内環境が改善されることによりリニューアルした院内PRに力を入れる等、入院患者数の増加を目指す目標と医療収益の増加を見込む。また、令和5年7月末までに碧南市民病院経営強化プランを策定し、プランに盛り込んだ取組計画やアクションプランに沿って着実に経営改善に取り組む。

2. 老朽化の状況について

令和4年度の⑩有形固定資産減価償却率は73.8%で前年度とほぼ変わらなかった。入院病棟の改修工事に伴う建設仮勘定を457.852千円余計上しており、改修工事が完了した令和4年度には資産勘定として改めて計上するため⑩有形固定資産減価償却率は減少する見込みである。⑪器械備品減価償却率は令和4年度にトータルオーダーリングシステム、病院内情報システム等の高額な資産を売却したため、前年度比4.3%の減となった。⑩有形固定資産減価償却率も⑪器械備品減価償却率も類似病院平均値を上回っており、施設や機器の老朽化が明らかである。しかしながら、①経常収支比率は100%を下回っており更新資金を経常収益で賄うことが難しいため、企業債による借入れに頼らざるを得ない。今後、施設や機器の更新を行う際は借入れが過大にならないよう十分配慮する必要がある。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性について」で記載したとおり経営指標は前年度から悪化し類似病院平均値を下回っているため、経営の健全性・効率性が確保されているとはいえない状況である。また、「2. 老朽化の状況について」で記載したとおり施設や機器の老朽化が進んでおり、かつ、更新資金を経常収益で賄えず借入れに依存した状況が続いている。長年の課題である医療スタッフの確保について、令和4年度末時点で常勤医師数は59人で前年度対比3人の増となった一方、常勤看護師数は214人で前年度対比9人の減となった。常勤医師数の増加は、前年度に引き続き積極的な近隣医科大学への医師訪問功を奏したものと考えられる。看護師（助産師）は不足し、近年では採用においても大量が出ている状況である。今後更なる生産年齢層の減少が生じ、働き手の不足が見込まれるため、現状の病院機能を維持できるかが不安である。このため、令和5年7月末で完了を見込む入院病棟の改修工事に合わせ、院内のPRを行い患者数の増加を図るとともに、新たに策定する碧南市民病院経営強化プランに掲げた医療スタッフの働き方改革等のアクションプランの着実な実施により、経営改善に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。